

平成25年度事業実績及び収支決算について

平成25年度事業実績報告書

I. 全体概要

第50回通常総会で承認された平成25年度事業計画に基づき、かんしょ、にがうり、いちご、かぼちゃ、らっきょう、花き類等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗生産では、概ね計画どおりの採苗・採種を行うことができた。

種苗供給では、かんしょ、スイートピー、ピーマン台木が計画を上回ったが、にがうり、かぼちゃ、らっきょう、ラナンキュラス、デルフィニウム等が計画を下回った。

歳入面では、当期収入が66,739千円（税込み）となった。この内事業収入は43,341千円（税込み）で、当初計画比94%、前年比94%となり、当期収入に占める事業収入の割合は65%となった。

なお、作業員の農閑期及び施設の遊休期間を活用して、野菜苗の受託育苗に取り組んだ。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第51回定時総会を平成25年7月1日に、第1回臨時総会を平成26年3月27日にそれぞれ開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第51回定時総会	平成25年7月1日	J Aビル501研修室	1. 平成24年度事業実績及び収支決算（案）について 2. 平成25年度収支予算の補正（案）について 3. 役員補欠選任（案）について（別表-1） 報告事項 ・ 諸規則の改正について
第1回臨時総会	平成26年3月27日	J Aビル501研修室	1. 平成26年度会費及び納入方法（案）について 2. 規程の制定（案）について 3. 役員補欠選任（案）について（別表-2） 報告事項 ・ 平成25年度収支予算の補正について ・ 平成26年度事業計画及び収支予算について ・ 平成27年度会費算出の見直しについて ・ 規程等の制定及び改正について

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場所	議案事項
第1回理事会	平成25年7月1日	J Aビル501研修室	1. 平成24年度事業実績及び収支決算（案）について 2. 平成25年度収支予算の補正（案）について 3. 役員補欠選任（案）について（別表-1） 4. 諸規則の改正（案）について
第2回理事会	平成26年3月27日	J Aビル501研修室	1. 平成25年度収支予算の補正（案）について 2. 平成26年度事業計画及び収支予算（案）について

			3. 平成26年度会費及び納入方法（案）について 4. 平成26年度借入限度額（案）について 5. 規程等の制定及び改正（案）について 6. 平成27年度会費算出の見直し（案）について 7. 役員の補欠選任（案）について（別表-2）
第3回 理事会	平成26年 3月27日	J Aビル 501研修室	1. 常務理事の互選について

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画 運営委員会	平成25年 6月4日	総合農試 第1会議室	第1回理事会付議事項（4議案）について
第2回企画 運営委員会	平成26年 2月19日	総合農試 第2会議室	第2回理事会付議事項（7議案）について

4) 事務局員会議

優良種苗利用促進事業を効果的かつ円滑に推進するため、事務局員会議を開催した。

[事務局員会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
花き部門	平成25年 7月2日	総合農試 第2会議室	・優良種苗利用促進事業成績検討 ・優良種苗利用促進事業設計検討
野菜部門	平成25年 7月24日	経済連 会議室	・優良種苗利用促進事業成績検討 ・優良種苗利用促進事業設計検討

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	協 議 事 項
棚卸監査	平成25年10月 3日	平成25年度上期末棚卸監査
	平成26年 4月 3日	平成25年度期末棚卸監査
帳簿監査	平成25年11月12日	平成25年度上期末帳簿監査
	平成26年 4月17日	平成25年度期末帳簿監査

2. 種苗生産・供給事業

①優良種苗を安定的に生産するため、県総合農試及び営農支援課等から随時肥培管理や種苗生産上の留意点等について助言指導を受けた。特に優良種苗対策事業については、試験設計及び成績についての協議を行った。

②種苗の生産に当たっては、「土づくり・土壌消毒の徹底」「土壌診断による適正な施肥量・灌水・適時整枝」等基本に忠実な肥培管理に努めた。

③厳寒期及び猛暑期の種苗生産は避け、優良種苗の生産及び低コスト化に努めた。

④J Aから予約以外の当用が多く、需要調整は充分とは言えなかった。

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種について、宮崎県から許諾を受け、種子の生産及び供給を行った。

- ①かぼちゃは「宮崎早生1号」及び「宮崎早生2号」の生産供給を行った。供給数量は193袋（計画比88%、前年比80%）となった。
- ②ニガウリは「宮崎つやみどり」「佐土原3号」「パワフルレイシ」「N1号」を生産供給した。供給数量は1,858袋（計画比81%、前年比87%）となった。
- ③ピーマン台木は「みやざき台木3号」及び「みやざきL1台木1号」を生産供給した。供給数量は232袋（計画比103%、前年比114%）であった。
- ④スイートピーは新品種「ムジカスカーレット」の他、「ムジカラベンダー」「美々」「式部」「紅式部」等について採種供給した。供給数は76袋（計画比101%、前年比99%）であった。
- ⑤デルフィニウムは「レグルス」「ポラリス」「リゲル」「アルタイル」等について採種供給した。供給袋数は161袋（計画比81%、前年比84%）であった。

(2) 栄養繁殖作物のウイルスフリー苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ランタンキュラスのウイルスフリー苗の生産供給を行った。生産は概ね順調であったものの、供給についてはらっきょう、ランタンキュラスで前年を下回った。

- ①かんしょは「宮崎紅」「コガネセンガン」を中心に生産供給した。「宮崎紅」256,751本（計画比64%、前年比67%）であったが、「コガネセンガン」は554,020本（計画比141%、前年比111%）で、かんしょ全体の供給数は869,174本（計画比102%、前年比98%）であった。
- ②いちごは「さがほのか」の生産供給を行った。供給数は9,630鉢（計画比96%、前年比100%）であった。
- ③らっきょうは原種の種球を生産するとともに、宮崎市田野町の農家に生産を委託して供給した。供給量は5,195kg（計画比80%、前年比76%）であった。
- ④ランタンキュラスは6,482本（計画比45%、前年比46%）供給した。培養苗で供給を行っているが、現地からは球根の供給の要望が強くなっている。

(3) 優良種苗利用促進事業

安価で安定的に優良種苗を生産するための技術開発を行った。

- ① にがりの苗質が種子生産に及ぼす影響
 - ・徒長苗の雄花数及び雌花数は正常苗に比べ少なかった。
 - ・「佐土原3号」の交配開始時期は定植後40～55日が適当と思われる。
 - ・早めの整枝・誘引により、作業時間を短縮する効果がある。
- ② かんしょの安定生産技術の開発
 - ・「宮崎紅」の系統「0-61」と「A-3」の現地での評価試験では「0-61」の評価が高かったが、「A-3」の品質も良く、根強い要望がある。
 - ・昼温が充分確保されれば、夜温は低くても生育は良く、暖房用燃料の節約が可能である。
- ③ ピーマン台木F1品種採種技術の開発
 - ・「みやざき台木3号」の交配開始時期は、子房親株の第5分枝時の花から行うのが良いと思われる。
- ④ スイートピー「紅式部」の採種技術の確立
 - ・「紅式部」の交配は、開花前日または当日開花した花粉を用い、舟弁を少し下げて、雌ずいの柱頭部分のみを露出させて、そこに受粉すると結実が良くなると思われる。
 - ・着莢数及び採種量は「少肥区」、「強い摘葉区」で増加する傾向が見られた。

- ⑤ デルフィニウム採種及び種子保存技術の開発
- ・種子保存は乾燥・低温で行うことにより、採種後2～3年は高い発芽率を維持できると思われる。
 - ・「カペラ」の逆交配は1株当たりの採種量が多く、採種効率が良い。また、発芽率も高かった。
- ⑥ 優良系統・品種の保存管理
- 野菜2品目4品種、いも類1品目7品種、花き5品目15品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作目	品目	品 種	導入先	導入年次	保存形態
野 菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成5年	プラスチック苗
		キングベリー	えびの市	平成12年	プラスチック苗
		みやざきなつはるか	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
	らっきょう	らくだ	県総合農試	平成2年	プラスチック苗
		らくだ	都城市	平成5年	プラスチック苗
いも類	かんしょ	宮崎紅	串間市	平成7年	プラスチック苗
		宮崎紅A-3	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		宮崎紅0-61	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		コガネカシ	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		アヤマラサキ	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		べにはるか	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		ジョイホワイト	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		ムラサキマサリ	県総合農試	平成25年	プラスチック苗
ことぶき	宮崎市	平成8年	プラスチック苗		
花 き	きく	神馬66-4	県総合農試	平成21年	選抜親株
	スターチス	スターライトパール	県総合農試	平成7年	プラスチック苗
		スターライトローズ	県総合農試	平成7年	プラスチック苗
	デルフィニウム	GN89(シウス親)	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		LP93	県総合農試	平成20年	プラスチック苗
	ランキュラス	ガーネット	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		ラズベリル	県総合農試	平成19年	プラスチック苗
		ローズクオーツ	県総合農試	平成21年	プラスチック苗
		ランキュラス4系統	県総合農試	平成22年	プラスチック苗
	スプレーカーネーション	ローロ	県総合農試	平成19年	親株
		ローレット	県総合農試	平成19年	親株
		ローピノク	県総合農試	平成19年	親株

- 2) 作業員の農閑期及び施設の遊休期間を活用した園芸作物の受託育苗
- 優良種苗生産に不向きな期間の通年雇用作業員の雇用維持、施設の有効利用を目的に、農家のニーズが高く、ジェイエイアグリシードでは対応しきれない野菜苗の受託育苗を行った。

(品目)	
ナス	15,775本
キュウリ	48,750本
ピーマン	44,040本
計	108,565本

(別表－１)

役員の補欠選任について

１．理事

辞 任		就 任	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
本部定澄	西都市農業委員会局長	大坪立芳	西都市農政課長

(別表－２)

役員の補欠選任について

１．理事

辞 任		就 任	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
轟 篤	バイテック常務理事（所長）	吉岡秀樹	県総合農試畑作園芸支場長